

# Bravi

旅人（バックパッカー）が書き、旅人が読む、旅人のための旅ライフフリーペーパーマガジン

テーマ「Peace 旅人が視  
た平和」／旅先の変な日  
本語／エッセイ「旅トキ  
ドキ・・・」／旅で使え  
るスマホアプリ／Chibirock  
の旅はくせもの  
／旅人からの伝言「特集  
ミャンマー」／トホホな  
話／一本の糸で世界をつ  
なぐチャリの旅／自炊派  
の手料理／エッセイたび  
たべ／アジア漂流日記／  
最も楽に安くアンナブル  
ナBCに行く方法 他

Photo(C)鈴木モト

Vol.9

# THIS IS YOUR BACKPACKER

旅人の数だけ違った  
スタイルがあっという。

これはあなたのバックパッカーライフです。

# LIFE.

バックパッカーで旅をするって特別なことですか？あなたは旅バカですか？もしあなたがクローゼットの中にあるバックパックに想いを馳せるなら「旅バカ」です。苦楽を共にしてきた数々の相棒を捨てられずにいるなら、間違いなく「旅バカ」です。

残念なことにそれは **不治の病** です。一度目は衝撃の印度  
2度目はうまくやれるナマステ 3度目はもう病気です！

バックパッカーの大好物, 最北端, 最南端, 最西端, 最東端, 赤道, 南北回帰線,  
洞窟, 離島, そして僻地, 辺境, 秘境, 越境…

**越境！** バックパッカーの妖しい与太話に散りばめられた真実、  
そして名もなき旅人たちが残し受け継いできた、

「金の北米、女の南米、  
数々のバックパッカー名言 & 格言。

耐えてアフリカ、歴史のアジア、何もないのがヨーロッパ、  
問題外のオセアニア」放浪 流浪 徘徊 ジプシー ノマド ボヘミアン etc...  
行った国の数はそんなに大切なのか？ 世界一周って何ですか？ あのガイドブックの裏話。

## J-Backpacker styleの系譜。

それは『何でも見てやろう』から始まった。結論のでないあの愛しきバックパッカー論の数々。  
「日本人宿 / ガイドブック / 節約ピンボー旅 / 夜のパトロール」カニ族全盛期から時は刻まれ、  
いまやバックパッカー 3.0 爺ちゃんも両親も旅人の3世代目バックパッカー出現！  
スマホ, Wi-Fi, LCC, ナチュラルボーン…デジタルネイティブで、ソーシャル・ヒッピーな

こちら側の世界へようこそ。 **旅は変わっちゃまったのかい？**  
デジモンバックパッカーが闊歩する時代の到来。

**バックパッカー新聞、** 旅の環境や手法が変わっても、やっぱり旅は人  
**創刊です。** との出逢いだ、やっぱり人が断然オモシロイ。  
わたしたちは、そんなバックパッカー現役OB/OG、  
そしてこれからバックパックを担いで旅に  
出る仲間のベースキャンプとなりたい。

Coming soon. 『バックパッカー新聞』 Published By Japan Backpackers Link 発行人 編集長 向井通浩



# Khaosan Tokyo Guest House

<http://www.khaosan-tokyo.com/ja/>

日本で海外の気分を楽しめる!

カオサン東京ゲストハウスは、東京、京都、福岡、別府に計8つの店舗を展開しています。  
国際交流をしたい! 安く快適に泊まりたい! 楽しくにぎやかに滞在したい方!  
観光、就職活動、一人旅等、あらゆるお客様に満足していただける宿泊施設です。



**TOKYO**

**NINJA**

1泊/2200円~

**ORIGINAL**

1泊/2000円~

**SAMURAI**

1泊/2500円~

**ANNEX & SMILE**

1泊/2000円~

**KABUKI**

1泊/3000円~

**KYOTO**

1泊/2000円~

**BEPPU**

1泊/2000円~

**FUKUOKA**

1泊/2400円~

## CONTENTS

- 旅人からの伝言 「特集 ミャンマー」
- 実は、ココぞ訪れるべき観光地。
- 旅先の変な日本語
- 旅で使えるスマホアプリ
- Chibirockの旅はくせもの
- テーマ「Peace 旅人が視た平和」
- 旅人が見た平和
- アフリカに見た平和
- エッセイ「旅トキドキ・・・」
- トホホな話
- 一本の糸で世界をつなぐチャリの旅
- 最も楽に安くアンナプルナBCに行く方法
- 自炊派の手料理「もちポテト」
- エッセイたびたべ
- アジア漂流日記
- 巻末ショートエッセイ「長い間」
- Brali Photo（誌上写真展）
- 作者・情報提供者一覧
- 編集後記
- 次号予告
- 記事募集



アジア最後のフロンティア

# ミャンマー

近年、経済を開放し急激に民主化が進むミャンマー。安価な人件費と豊富な資源に群がる外国資本。既にヤンゴンの物価は上昇し宿泊施設も軒並み上がっており、ゲストハウスも5年前と比較しておよそ倍の価格まで上がっている。辛うじて地方や観光地がそれほど上昇していない今が最後のチャンスなのかもしれない。

★DATA

ミャンマー連邦共和国 (ミャンマーれんぽうきょうわこく)

共和制国家

1989年までの名称はビルマ

首都はネピドー (旧首都はヤンゴン)

公用語 ビルマ語

最大の都市 ヤンゴン

面積 676,578km<sup>2</sup> (40位)

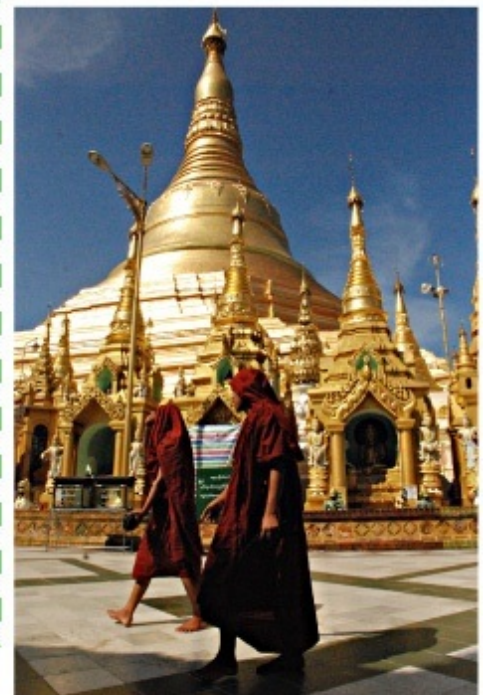
人口 (2008年) 50,020,000人 (25位)

通貨 チャット

ビルマ族 68%

上座部仏教 90%

ミャンマーに対する渡航情報 (危険情報) 全土: 「十分注意してください。」 (継続)



## 実は、ココぞ訪れるべき観光地

---

実は、ココぞ訪れるべき観光地



■Writer&Photographer

yukkichalk

■Age

34

■Profile

東南アジア女人旅ばかりのOL。毎年訪問のミャンマーにはまりすぎ、今年末からヤンゴンに留学予定。

最近でこそ、ビジネスチャンスとして多くのメディアに取り上げられるミャンマー。

私が初めて訪れた2008年。家族や友人たちは『危ないから！』という理由で必死に止めていた。実際は、毎年訪緬するほどすばらしい国だった。優しさにあふれる人が多く、この国で嫌な思いをすることは珍しい。

ミャンマー旅のゴールデンルートと言われているのは、ヤンゴン・バガン・マンダレー・インレー湖。

初めてなら、ゴールデンルートでもミャンマーの魅力はわかるはず。ただ、時間があるバックパッカーなら、チャイティーヨ・ミャウー・チャイントンだ。



『チャイティーヨ』は、落ちそうで落ちないゴールデンロックがある場所。その不思議さ

から、TVなどでも取り上げられることが多い。

ヤンゴンからも頑張れば日帰りで行ける距離。ただ1泊はして、昼と夜の二つの顔を見てほしい。

ここでの楽しみは、黄金の岩のみ。山頂にあるこの岩をひたすら見る。ミャンマー人の聖地だけあり、朝から遅くまで多くの人が祈っている。男性のみが岩に触れるが、女性もがっかりすることはない。金箔を買えば代理の人が女性のために貼ってきてくれる。

そして離れた場所から祈る。直接触れなくても、その想いはきっと届くと信じるしかない。



ミャンマーで遺跡をみるなら『ミャウー』だ。

バングラデッシュ国境に接した西部のヤカイン州には、かつて交易で栄えたアラカン王国があった。ヤカイン州の州都シットウェーからボートで約5時間。陸路では移動不可なのだ。

さほど観光業が進んでないミャウー。近くの村を通過すれば、子供たちがボートを追って走ってくる。街でも笑顔で「ハロー」と。

散歩していると、お茶でも飲んできなさいと家に呼んでくれるフレンドリーさ。

遺跡や人の素晴らしさだけではない。夜になると満点の星空。いくらでも流れ星が落ちてくる

。この素朴さは遺跡で有名な観光地『バガン』では味わえない。だったら、遠くても『ミャウー』なのだ。



残念ながら、今年6月民族紛争が起きています。現在入域できるのか.....。

こんな状況は旅人の心を揺さぶりませんか?! 不思議と、行けないと思うと、更に行ってみたくなる。

遠くても再訪したい場所。どうか状況がよくなりますように.....。

少数民族に会いたいならシャン州の『チャイントン』。

タイのメーサイから条件付でミャンマーに入国ができる。

バックパッカーにはなかなか厳しいこの条件。ミャンマーとは言い難いタチレイからガイドを付ければチャイントンまで移動が可能だ。ガイドに1日1500バーツ+自分の旅費。

タチレイで入国すると他のエリアには移動ができない。タチレイまでガイドと一緒に戻り、タイに再入国する形となる。こんな条件なら、ヤンゴンから入国しチャイントンに移動した方がミャンマーを楽しめる。



ここチャイントンでは少数民族に会いに行くトレッキングが有名だ。

民族衣装を着て、生活している人たちも多い。街中にあるマーケットでもアカ族などが村から買い物に来ている。

毎年12月末には3日間もアカ族の祭りが街のスタジアムで行なわれる。朝から、宝くじやビンゴなどゲームで盛り上がり、夜はライブで盛り上がる。ここに行けば、老若男女のアカ族に会える。

トレッキングルートはいくつかあり、アカ族の他、ラフ族やエン族などにも会える。温泉に行くツアーなどもあるが、その時の情勢により禁止されることもあるのがちょっと問題。

ミャンマーと言っても広い。その広さは日本の約1.8倍にあたり、場所により民族や気温、料理も異なる。

『ミャウー』で食べれるヤカイン料理は辛い。海産物がおいしく、大きな海老がびっくりするくらい安く食べられる。

『チャイントン』ではシャン料理。比較的日本人の口にも合い、様々な麺料理があるので食事は飽きない。



『ミャウー』も『チャイントン』も時間+お金が必要になる。



だけど、ミャンマーを見るなら外さないで欲しい場所。田舎の素朴さが残り、人々がとにかく温かい。

そう簡単に行ける場所より、魅力がたくさんあるはず。

まだまだ国内の民族紛争などが完全に解決されていないので、現地の旅行会社などに確認し最新の情報を得てください。

自由化が進んでいるミャンマー。今後、まだ見ぬ秘境に行けるよう期待したいです。

**Aung San Suu Kyi**

## アウンサンスーチー

1945年6月19日生まれ

ビルマ独立運動を主導し暗殺されたアウンサン将軍の娘（父親は日本との関係も深かった）。

ミャンマーの非暴力民主化運動を行い1991年にノーベル平和賞を受賞。

軍事政権に合計14年超の自宅軟禁される。現在は解除され、政治活動を行なっている。



### 語録

「世界中の人々は、自分たちの十分な可能性を実現させることができるための自由と安全を必要としているのです」

「私にとっての愛とは惜しみなく与えることです。人々の苦悩をやわらげ、彼らを幸せにすること。そのために持てるすべてを与える。それは自己犠牲などではなく喜びなのです」

「孔雀は踊るべき時には踊ります。闘うべき時には闘います。常に踊っているわけではありません」

「視野を広げ同胞意識を持って全世界を受け入れ、他人の困難を感じ取ることの出来る大きな心をもってほしい」

「人間だから衝突することもある。それを解決する手段は、銃で殺しあうのではなく対話です。必ず協調点があります。絶えず相手の気持ちをわかろうとすること。自分が希望や恐れを抱いているのであれば、相手も希望と恐れを持っていることを、共感を持って理解することからはじめましょう」

「権力が墮落させるのではなく、恐れが墮落させるのです。権力を失うことの恐れが権力を行使する人々を墮落させます。また権力からの懲罰への恐れが権力に従う人々を墮落させます。」

「一人の人間としてこの世に生を承けながら、ただただ自分のことだけを考えて生き、それで死んで行くなんて。…せつかく人間として生まれた甲斐が、ないのではないでしょうが。」

日本語



旅先の

海外の旅先で見かける、どう見ても変な日本語。看板やメニュー、商品やチラシに至るまで。笑わせてくれる「変な日本語」をTwitterで集めて見ました。



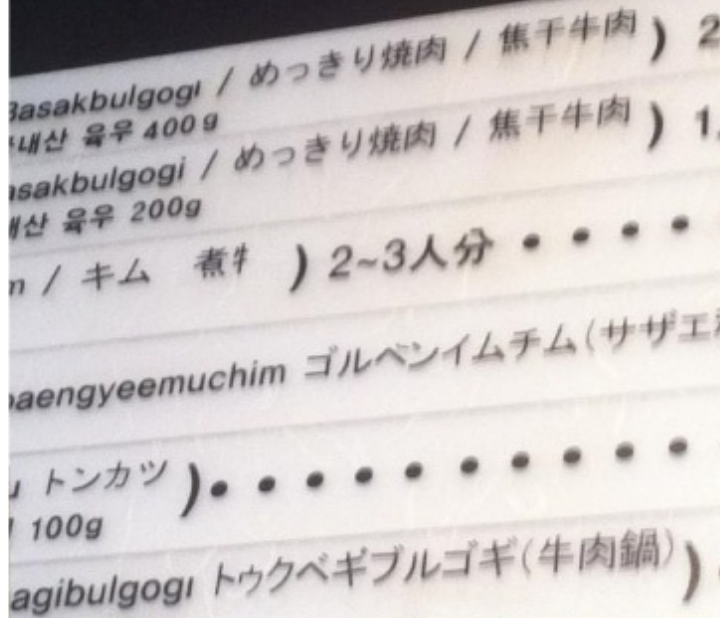
日本人に対しては、ある意味インパクト大なのかもしれませんが。何を取り扱ってるのか興味津々になるかもしれませんしね。

提供：沢井ブルースさん



「最近秋になってめっきり朝晩冷え込むようになってきましたね。」「最近めっきり焼肉ですね」は使い道がないな。

提供： <http://twitter.com/KyoQspecial>



「いいえ犬」図案で見たらわかるけど。しかし最近Google翻訳とかの結果をそのまま貼り付けてるのが多くてひどいな。  
<https://twitter.com/marchenosnos>

## HearPlanet

文字通り旅で使えるスマートフォンのアプリの紹介です。昨今ではスマートフォンやタブレットがバックパッカーの間でも普及し、旅の途中も離せない人が増加中。旅を助けてくれる、旅をもっと面白くしてくれるアプリを紹介していきます。



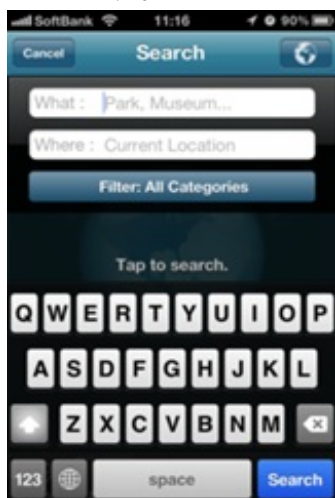
HearPlanet 無料

アプリが観光地などの情報を喋ってくれる（英語）アプリ。都市の概要や交通や歴史などを英語ですが喋ってくれます。旅先などでGPS検索で近隣の情報を得ることができます。また都市名検索などもできます。もちろん日本でも使うことができます。

聞きとれなくても英語で原文が読めます。



使い方は説明するまでもないのですが、カテゴリ一別に検索、地図で検索、フォームに入力して検索といくつかの方法があります。



合成音声のようなので聞き取りにくいかもしれませんが、もしかすると英語学習に利用できるのではないかとも思ってしまいます。

国内旅行をするのに英語のアナウンスを聞いて学習しながらと言う方法もありかもしれません。



国内で慣れたら、実際に海外旅行で使ってみて下さい。

旅で使えるアプリ、知りませんか？「こないだの旅で、こんなアプリに助けられた」、「便利だった」なんてアプリをお寄せください。

## できれば忘れたくない、楽しいお酒の思い出

---

【できれば忘れたくない、楽しいお酒の思い出】

日本は世界でも極めて稀な酔っ払い天国だということは、皆さんもお気づきであろう。

強くもないくせにグビグビ飲む→酔っ払ってそこら辺に吐いたり寝たり→でもそんなに盗難とかあわないし怒られないし→最初に戻る

大体の国では、道端で寝ようものならいろんなもんなくなったり、公の場で飲んだら怒られたりする。インドでは、値段のつり上げられまくったキングフィッシャーを得るために、そこらの若者に色目を使ったり、半分しか鉄格子の開いていない酒屋に向かって、インド親父たちとせめぎ合うなどの一苦労がともなったりもする。



せめぎ合う図

日本にはそういうブレーキがないから、こんなどうしようもないループがまかり通るのである。こんなどうしようもないループがまかり通っていいのかよと首をひねる。

わたしも例にもれず酒は好きだから、日本に生まれて本当によかったと思っているが、一応大人の女だから、道端で寝たことはない。ただ、**記憶をなくすだけ**だ。

「えっそんなこと言ったっけ」はもはや口癖。そろそろみんなに愛想をつかさされるのではと少し心配ではある。

特にインドの1リットル80ルピーの安酒なんか飲んだ日には、たいそう面白いことになっているらしいのだが、残念なことにやっぱり覚えていない。

世捨て人の溜り場・ゴアでは、市場の売り物の布の上で、股おっぴろげで爆睡の兄さんを写真に撮って笑っていたちびろっくが、その夜激しく酔っ払い、まるっきり兄さんと同じスタイルで寝落ちした状態で発見されたというエピソードもある。潜在意識レベルで兄さんの寝姿を完コピーしていた自分に拍手である。



そんなことをやっても、酒が飲めることによって得たものはたくさんあるので、後悔はしていない。今のところは。

今後も世界の酒と酔っ払いとの出会いを楽しみのひとつとして、旅出ます。



カンクンまで来たがやることがないのでとりあえず飲むちびろっく。

たまには有益な情報をとということで、おススメビール情報を以下に挙げます。

#### ・ミャンマービール

なんかおとなしそーな仏教国なんで、あんまりミャンマーにビールのイメージない人が多いようですが、これスツキリ絶品。

日本なら高円寺か高田馬場あたりで飲めます。



・ラサビール

チベットのビールがうまいなんてまた知らなかったでしょ！ これもスッキリ絶品。  
日本では飲めるところあんのか不明。

・ブルームーン

ロスで。スッキリ絶品。



・チェコ

ひとつおりうまい。

すいません、ほんとすいません。ボキャブラリーが少ない&記憶がないから雑ですいません。  
ま、とりあえずおいしかったのは間違いないので、機会があれば、是非お試しくださいね。

旅はくせもの、今回をもちまして一休みします。

しばらくは、最近まともに更新してないブログでうだうだし、また書きたい欲望が出てきたら  
編集長に土下座する予定です。

最後までグダグダでしたが、読んでくれた極・暇人のあなた、ありがとうございました。

駄文を恥ずかしげもなく人さまに晒してた女がいたことを、なんとなく覚えておいていただければ幸いです。わたしのよう忘れずに。

アジア旅行記はまだまだ続くので、是非読んでね～。

# 旅人が視た平和



「平和」とは？なんぞや。

一般的に平和とは戦争状態にないことを言うらしい。史学的には「戦争と戦争の間」と、さばさばした表現。戦争の反対語でもある。もっとも最近では戦争や内乱などがないうえに飢餓や病気が蔓延していない状態のことを積極的平和とも言うそうです。

このピースマークですが手旗信号でNとDを表しているそうです。Nは両腕を左右に広げてる、Dは旗をまっすぐ上げている状態。「Nuclear Disarmament」の頭文字、核軍縮を意味します。

タバコのPeaceのパッケージのマーク覚えてます？ハトが葉っぱをくわえている意匠です。これは旧約聖書のノアの方舟の件で、ノアがハトを放ちオリーブをくわえて帰ってきたことから、大洪水が収まったことを知り、平和の象徴になった話にちなんでます。

ま、Braliとしては、これらの話はどうでも良くて、旅人それぞれが定義とか関係なく、どう平和を感じたか、平和を視たかを書いてもらいました。

# 旅人が見た平和

---

## 旅人が見た平和

### ■Writer&Photographer

大谷 浩則

### ■Age

29歳

### ■Profile

猪突猛進のトイレットパッカー。現在世界2周目！フィリピン留学からスタート。

旅のPodcast配信しています！

Podcast:ウィーリーのバックパッカーラジオ 世界一周アワー

<http://tabitabi-podcast.com/sekai1/>

Blog:ウィーリー 海外放浪×地球一周×フィリピン留学 ~実況！旅人アワー~

<http://ameblo.jp/hero23/>

Twitter:[@taniwheelie](https://twitter.com/taniwheelie)

個人的に、平和だなあと感じる瞬間は「祭り」にあると思う。皆が日常を一時的に忘れ、一心に祭りに取り組む。

これは日本でも言えていることだと思う。祭りを心から楽しめる+実施できるその環境下は「平和」と言えるのではないだろうか。

私は海外の有名な祭り、例えばトマト祭りやリオのカーニバル等は参加したことはないが、ボリビア・ラパスのカーニバルやメキシコ・グアナファトの宗教祭り、エチオピアのマスカル祭り、フィリピン・バタンガス州のレチョン祭りなどに参加した。

その時の話をしようと思う。

エチオピアはアフリカ最貧国とも称されるほどの国だ。確かに町や村を歩くと「物乞い」の数は半端ないし、薄汚い格好の人間が多々目に入る。人口は約9千万人と非常に多い。国民全体のうちどれ程が貧困層なのだろうか。

そんなエチオピアだが年に複数回祭りがある。特に大きいのが1月のトゥムカット祭りと私が参加したマスカル祭りだ。

マスカル祭りはキリストの磔刑に使われた十字架を見つけたという伝説に由来する祭りで、1600年以上の歴史がありエチオピア各地で行われる。私はメケレという北部の街でこの祭りに遭遇した。

隊列が何隊もあり、列の前方には小学生ほどの子供たち。中盤には青年たち。後部には高齢者が隊を作る。特に青年たちの動きは活発だ。白装束に身をまとい、拡声器から流れる音楽に合わせて踊り狂う。見ていて壮観だ。祭りのために踊りの準備練習などはしていたのだろうか？ と

疑うほどの統一感と一体感。お祭りに想いを懸ける人々を垣間見た気がする。

よくある表現だが、踊ってる際の彼らの顔つきがとても真剣で、楽しそうなのである。普段の「非常にウザい」エチオピア人を感じさせない。そのエネルギーは半端ない。

こうした表情を見た時私は「ああ、平和だなあ」と思うのだ。普段の生活レベルなんか関係ない。一つの祭りに向けて皆で協力して全力で楽しむ。

こういう精神状況にある彼らは「平和」なのではなかろうか？ と私は思うのである。

少々偉そうなことを言うが、私はこうした「ローカルな」祭りを見るのが好きだ。もちろん有名な巨大な祭りが嫌いなわけではないのだが、ローカル色の強い祭りの方が「生活感」が見えそうで好きなのだ。

それを感じたのがフィリピン・バタンガス州のレチョン祭りだ。フィリピン各地でレチョン（子豚の丸焼き）祭りを定期的に行っているが、たまたま私が参加したのがバタンガス州のものだった。

人口数1万人も満たないような村で行われたレチョン祭りだったが、この祭りのエネルギーも物凄い。村人ほぼ全員がランクルの荷台に乗り込み、お互い水を掛け合うのだ。もうレチョンなんて関係ない。

普段から陽気なフィリピン人が、これでもかというくらい張り切って水を掛け合う。大人も子供も関係ない。昼から酒だ。とにかく飲めや食べろや踊れや。参加者にとって極楽だろう。確かに楽しい。

そんな状況を第三者的に見ると「平和だなあ」と思うのだ。祭りのために準備をし、一瞬の祭りのために全力を尽くす。彼らの表情から「この上ない笑顔」をうかがうことができるのである。

私は現在世界2周目をしているが、2周目だからこそできる視線で旅をしているつもりだ。

こうしたローカル祭りもそうだ。1周目は余裕がなく、参加することも少なかった。私みたいに世界2周目ができてしまう環境もまた「平和」だなあと思うことがある。そんな自分の状況に甘んじることなく、今後も旅をする予定だ。

「日本国籍」という最高のパスポートを持つ我々日本人。こんな「資格」をもつだけで平和だ。

旅する我々も祭りをする人々もそれぞれに「平和」があるのだろうと思う。

# アフリカに見た平和

---

「アフリカに見た平和」

## ■Writer&Photographer

谷川和哉 (Kazuya Tanigawa)

## ■Age

30歳

## ■Profile

自分の知らない世界に触れたくて、初めてカナダに行ったのが高1。国内外問わずウロウロと。多くの街に行くよりは、一つの街でじっくりと人に触れる旅がしたい。現在は、技術者として腕みがき、翻訳ボランティアをしながら、エネルギー問題の解決方法を考える日々。誰か一緒にやりましょう。100人100旅；第1、3、5弾執筆者。100人100旅を通して東京、名古屋、京都、熊本、函館、イタリアで写真展を開催。個人的にも名古屋の旅人と共に写真展を開催する。

Twitter ; [@ponn\\_kazuya](#)

南アフリカ共和国に留学しているとき、旅行でレソトに行った。

南アフリカ共和国の中にある小国。経済は完全に南アフリカ共和国に依存している。

学校の先生に、

「スワジランドに行く」

というと、

「いいなあ」

といわれるけど、

「レソトに行く」

というと、

「そう」

という反応しか返ってこない。そんな小国。

南アフリカ共和国の首都のひとつ、ブルームフォンテインからバス一本でいける。ケープタウンとヨハネスブルクの間位置する。

そんな小国に僕は行った。

南アフリカから入って国境を抜けると、雰囲気がガラッと変わるのが肌でわかる。

すごくのんびりした雰囲気。

首都のマセルからバスに乗って数時間。バスを乗り換えること一回、マレアレアという宿に着く。

南アフリカの中では、ダントツに高い宿。観光客向けの宿。

しかし、宿はここしか見つからない。

別に貧乏旅行をしているわけではない、ここにとどまってみたい。マレアレアロッジに泊まる

ことにした。

ロッジの周りには小さい村が広がっている。

パン屋が一個、雑貨屋が一個。雑貨屋に水を買に行くと、水は売り切れているという。そんな何もない村。

そこで、相変わらず、ぼーっとして座っていると、若者が話かけてきた。

「今日は、ロッジでショーをやるから必ず見に来てくれ！！」

僕はロッジに泊まっているのだから、ロッジに帰ると有無を言わず見ることになる。

「わかった、見に行くよ」

僕はそのまま宿に帰った。夕方くらいになると、音楽が鳴り出した。

さっき話ししていた若者が、踊りながら歌っている。大勢で聖歌のようなものを歌っている。

決して上手いとはいえないけれども、みんな必死に歌っている。

このロッジには観光客しかいないので、もちろん観光客にお金をもらうためにやっているのだろう。

申し訳ないが、村の人が自発的にこのようなショーを考え付いたとは思えない。誰が、ここにこれだけのショーを持ち込んだのか。

この村には何もない。でも、自然を見るために、観光客はたくさん来る。

旅行者の中で、物乞いにお金をあげる人はほとんどいないのではないかと思う。どちらかというと、現地の人達が物乞いにお金をあげているのをよく見かける。

でも、確かに、産業も何もない、お金を稼ぐ手段がない場所で、自然を利用し、人を呼び込み、快適な宿で、人を呼び込む。

呼び込んだ観光客に、芸を見せて、お金をもらう。

そして、何よりも、マレアレアロッジ自体が村の人たちにとっては、格好の働き場所。

治安が悪い地域というのは、やはり、お金を稼ぐ手段がないからだと思う。

お金がないから、教育を受けられない。教育を受けられないから職に就けない。職に就けないからお金を稼げない。

この悪循環。

しかし、国を挙げて（マレアレアロッジが国のものかどうかは知りません）、ボランティアを使って、まず、最初の一步を踏み出させる。小手先の手段ではなく、しっかりと、根を張った方法。

あの、若者と話をすると、この村の人の多くは何らかの芸ができるとのこと。

小さい村で何度も何度も、同じところを往復し、一日中、石に座って、周りを眺めてる。向こうは、もちろん僕が日本人だとわかっている。でも、おごってくれといわれることもないし、水、お金をくれといわれることもない。

自分達で、自らの手で稼ぐ手段とプライドをしっかりと持っている。

この村の人たちを見ると、観光以外の産業を手に入れる日も遠くないのではないか。そんな期待をしている。

平和というのは、まず心の余裕を手に入れること。

心の余裕を手に入れるために、しっかりと教育をすること。そして、その教育というのは、身に着けると、どのような未来が待っているか。

明確なこと。

そこからつながってくるのではないかな、と感じた。

車轢き強盗にあったレソトだけど、またレソトに行ってみたい。変化をみたい。

そう思わせてくれる国です。

## エッセイ「旅トキドキ・・・」

---

鈴木モト

男性 静岡県出身。高校時代、陸上でインターハイ出場。ベストタイム10秒84 (100M)  
美容師免許、管理美容師免許取得。

MIXIコミュニティー、「鈴木が書く世界一周旅行記が好きだ」2800人突破。

[http://mixi.jp/view\\_community.pl?id=3502328](http://mixi.jp/view_community.pl?id=3502328)

現在、一眼レフカメラ片手に世界を放浪中。

ブログ「地球の迷い方。～世界放浪編～」

<http://ameblo.jp/roundtheworld200130/>

パーティー島と呼ばれる所が  
世界にはいくつかある。

俺はクラブやパーティーに興味は無いけど、  
一度は行ってみたいと思ってた。パーティー島に。

だから行ってみた。タイのパンガン島に。



ここは。満月の度に、パーティーが開催され、島のビーチ沿いがクラブと化す。  
若槻千夏がブログで書いた事がきっかけで、  
パンガン島のフルムーンパーティーの知名度は、グンと上がったけど.....

パンガン島で、一番盛り上がるのは、  
フルムーンパーティーでは無い。

一番盛り上がるのは.....大晦日だ。大晦日のカウントダウンだ。  
大晦日は.....マジで凄かった！





夜の10時に、カメラをだけ持って、バイクにまたがり、  
カウントダウンパーティー会場のビーチに向け、出発した。

夜風を全身に受けながら、ノーヘル2人乗りで、バイクをとばす。

毎回思うのだが.....、夜にバイク2人乗りすると、  
尾崎豊の「盗んだバイクで走り出す〜♪」と.....

盗んだバイクにまたがっている訳では無いのに、いつもこの曲を口ずさんでしまうのは、何故だろうか。

後ろにひっくり返りそうな位の急な坂道を越え、  
ブレーキをかけても止まる事が出来ない位の滑り台の様な坂道を降ると.....

酔っ払った多くの陽気な欧米人が、道路を埋め尽くしていた。



バイクを降り、音のガンガンするビーチに向かって、テクテクと歩いていると.....  
蛍光塗料で身体にペイントしてくれる、ペイント屋が姿を現した。

せっかくなので.....

旅の相方みつまさんと、お互いに身体に、蛍光塗料で落書きし合い、音の鳴るビーチへと向かった。

ビーチ近くになると.....

露店が所狭しと並び、カクテルやお酒が、バケツで売られていた。

どの露店も、客引きに必死で.....、

「フリーハグ」と書かれたボードを持ってるオバサンが沢山いて、何だか可笑しかった。



海辺では、流行の音が、重低音でズンズンと鳴り響き、酒に酔ったパーティーピーポーが、浜辺で踊り狂っていた。

浜辺を埋め尽くす人、人、人。酔っ払い、酔っ払い、酔っ払い。

となりでカップルが、いきなりブチューーと、熱いキスをかました。すげーなと思って、目を丸くしてみると、「じゃあまたね！」ってすぐにバイバイ。



カップルと思ったが、どうやら違う様子。

出会って5秒で熱いキスを交わして、15秒後にはバイバイの男女多数。つーか……、厳格なイスラム圏じゃマジあり得ない!! 笑 (痴漢は馬鹿みたいに多かったケド。)

酔っ払いで埋め尽くされた海岸には……、

ロープにガソリンをぶっかけ、ゴウゴウと燃えたぎるロープで縄跳びをする、ファイヤー長縄跳びや、

火傷必死のファイヤーリンボーダンスや、ファイヤー滑り台、お立ち台、ファイヤー輪くぐりなど……



日本じゃ絶対やらない様な、むちゃくちゃな演出が沢山あり、客のテンションをガンガンと上げさせる。

トイレは有るけど、混んでる為に、すべて海。  
男だろうが、女の子だろうが、みんな海でしてました。

さすが陽気な欧米人達。海辺にケツが沢山並んでた。

時計の針が0時を迎え、年が変わる同時に、バンバン花火が上がった。  
すると.....、新年になると同時に、そこら中のカップルが、  
ブチューっと熱いキスをバシバシ交わし始めた。

欧米人で、情熱的でオープンで.....、見てるこっちが恥ずかしくなる。

そしてパンガン島は、イスラエル人がとても多かった。

ちょっと話は変わっちゃうけど.....、  
俺の知り合いの知り合いの女の子が、  
パンガン島のパーティーで、イスラエル人男性と出会い、一夜を共に過ごしたそう。

その日の夜、イスラエルの彼に腕枕をされながら、

「パンガン島に来る前、あなたは何処にいたの？」  
って話を彼にふった。

そしたら彼は、腕枕をしながら遠い目をして.....、  
「僕はパンガン島に来る前、戦争に行っていた。人を5人も殺してしまったんだ.....」  
と、いきなり告白されたそう。

そんな殺人事件を告白をされて、彼女は酔いが一気に冷めたらしい。

未だに、徴兵制度があるイスラエル。

日本も昔は徴兵制度があったけど、第二次世界大戦の時だよな？ 確か。

イスラエル人の彼らには、3年間の兵役が義務づけられているそうで、兵役中は実際に、戦場に送られる事もあるそうだ。

3年という長い歳月を、兵役にあてられ、人に銃を向けなければならない状況の所に送られる。

俺には考えられない世界。

兵役後、政府からそれなりのお金がもらえる為、世界を旅するイスラエル人はホントに多い。

インドのプシュカルからジャイサルメールに向かうバスの中は、合計20人の欧米人が居ただけど、17人がイスラエル人だった。

イスラエルの抱える問題は大きくて、無知な俺にはまるで解らない。

そして何かと悪者にされる、イスラエルという国。

パスポートの欄に、イスラエルの入国スタンプがあるだけで、入れてくれない国が数多くあるけれど、

俺が今回の旅で出会った、イスラエルの人達は、いい奴ばかりでした。

そして彼らイスラエル人に、

「俺はマレーシアから、インドに来た。これからバングラディッシュに行きたいんだ」

と話す、

「いいなあ、ジャパニーズは！ 俺達イスラエル人は、マレーシアにも入れないし、バングラディッシュにも入れないんだ……」

と、少し悲しそうに言われました。やっぱり日本のパスポートは強い。

そして……

もしこれから……

イスラエルと敵対している国に行ったり、  
イスラエルから支配されている、  
パレスチナ自治区に行ったりしたら、

俺の考え方もきっと変わるだろうし、  
イスラエルの政治方針に反対するのも知れないけれど……

あまり、情報を持っていない今、  
戦争にいかねばならない状況にいるイスラエルの若者に、

3年という長い歳月を、兵役に当てなければならぬイスラエルの若者に……

ほんとにキツイよなど、  
心の底から同情してしまうのです。

辛い兵役に、3年間も行きたくないよ……。

そして彼らには申し訳ないけど……  
兵役制度の無い日本にうまれて  
ホッとしたと同時に、幸せだと感じました。

そして……

3年間の兵役から開放されたイスラエル人の彼らは、  
ほんとぶっ飛んでるヤツが多かった。 笑

そりゃーそうだよ。ずっと抑えてた、自由と遊びを手に入れたんだから。

パンガン島でも、雄たけびを上げながら、幸せそうに踊ってました。

そして明け方、遊びつかれた俺とみつまは、原付バイクに2人乗りで、  
「盗んだバイクで走り出す〜♪」と……、  
レンタルしたバイクにまたがりながら、尾崎豊の15の夜を熱唱しながら帰りました。

2013年のお正月は、俺は世界の何処で過ごすのだろうか？

最後に、平和活動している人、イスラエルのパレスチナ自治区に住む人の言葉。

「武器は血しか生み出さない。武器を買うお金があるなら、  
子供たちに食べ物を提供するべきだ！！」って唱えてる人がいる。

その通り。

殺し合いは醜い事だと、  
世界中の人々が、口をそろえて言っているのに……、

いつになったら、戦争や内戦が終わるのだろう。

皆が願う世界平和、  
これがくる日は、一体いつになるのだろうか？

以上、話しがだいぶそれちゃったけど……

タイのパーティーアイランド「パンガン島」でした。

では、また。SEE YOU NEXT! THANK YOU!!

## 今だから笑える、本当にあったトホホな話

---

旅をしていると、日本ではとてもありえない事に遭遇したりする。

そして、時に泣き、怒り、落胆し、呆然とし、赤面し・・・。

そんな旅の猛者たちのトホホな話をTwitterで集めました。

中学のとき一人で迷子に。ホームステイ先に帰れずに、唯一覚えていたWould you tell me the way to the station?を駆使してなんとか辿りついた...みんな心配してただろうと思っていたら、その家の長女が玄関で彼氏とイチャイチャ...

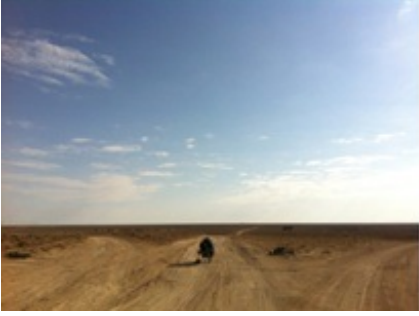
<http://twitter.com/Lippi9099>

初めてのアメリカ独り旅。夜ホテルのBarで飲み、飲み足りずルームサービスを。ピンポン...きました。バーボンバドワイザー1ダースにピザはL。独りじゃい。仕方なくいけるとこまで。次の日グランドキャニオンセスナ飛行は二日酔いで死にそうでした。

<http://twitter.com/ikaikaikachan2>

トホホな話、募集中です。

Connection7 「Kazakhstan, >>>8720km」



功：いよいよ待ちに待った中央アジアに突入！

儀：中央アジアって地図で見ると文字通りアジアのおへそ。馴染みのない「〇〇スタン」みたいな国々が並んでる。

功：あとでわかったことだけど、「〇〇スタン」ってイスラムで「〇〇の国」って意味なんだからね。

儀：なるほど、だからみんなイスラム教なんだ、あの辺の国って。

功：そんな「〇〇スタン」みたいな国ってどんな場所なのか、何があるのか、僕たちにとってまったくの未知の世界。だから冒険心をくすぐられまくっていたわけです。

儀：さて、アゼルバイジャンの首都バクーの目の前に広がるカスピ海を越えてたどりついたカザフスタンの街、アクタウ。お出迎えしてくれたのはどこまでも広がる広大な乾燥した大地とラクダさんたち。

功：僕たちが期待していた中央アジアは、木も生えていない真っ平らな何にもない殺伐とした乾ききった埃っぽい荒野でした。。。

儀：うおー、これこれ！ こういうのを待ってたんだよ！ ひゃっほー！！

功：と、浮かれていたのは最初だけ。

儀：アクタウでいつもの調子で、まず地図を買い、次の街をチェックし、食料と水を買込み、アクタウを出発。

功：始めはアスファルトに覆われていた道がだんだんとガタガタに。ひび割れがひどく、針金が突き出ていたりして、とてもまともに自転車で走ることはできない。

儀：そのうちに道は未舗装に。未舗装と言っても、日本にあるような砂利道や、畑の中の土の農道なんていうような、そんな甘っちょろいものではありません。

功：岩盤むき出しなのでこぼこ、50cmぐらいのへこみがあるのは当たり前。ときに深い砂で覆われ、50kgの自転車を手で押して進むのもやっとなほど。

儀：自転車を捨てて、のんびりと砂漠を歩いているラクダを一匹ぐらい捕まえてそれに乗り換えようかと本気で思ったぐらい、ひどい悪路。

功：なめていた。地図上では走っている道は国道のはず。……これが、本当に国道?? 道と呼ぶのはばかれるぐらいの悪路だぞ！！

儀：最初は半分悪態をつきながら、でも半分楽しみながら走っていたのですが、事態はだんだん



深刻に。

功：予想以上に時間をくってしまった。なかなか前に進めない。まわりはひたすら砂漠。街も家もない。

儀：……食料と水が足りない。どう考えても手持ちの食料では次の街までもたない。

功：これは笑えなかった。計算した日数分の食料では到底足りなかった。

儀：残り水500ml・パスター食分。食料が尽きた日のあまりにも美しすぎる砂漠の夕暮れ。盗賊に襲われないよう、砂漠の物陰に隠れてテントを張ってパスタを食べたあのときのひもじさと言ったら。

功：寝ても覚めても、道は行けども行けども、相変わらずの悪路。人の気配もない。少し丘を登り、目の前の地平線のはるかかなたまで果てしなく続く未舗装路を見たとき、さすがに国道だからそのうち舗装されるだろう、といった甘い考えはもはや打ち砕かれました。



儀：でも、そのとき地平線上にわずかに小さく何かが飛び出ているのに気付きました。

功：目測で10km。単なる岩かもしれない。でも、家とかだったら助けてもらえるかもしれない。最後の望みをかけて、国道からはずれてさらにひどいガタガタ道をその地平線から飛び出た何かに向けて進んで行きました。

儀：やっとの思いでたどりついたその場所は……お墓？……いや、廃墟か？

功：低い塀で囲われた、ボロボロの廃墟のような広大な敷地の真ん中にはイスラムのシンボルの三日月が掲げられていました。

儀：お墓なのか？ そんな。。

功：人の気配はない。

儀：終わった。この墓で死ねとでもいうのか。。

功：絶望しました。でも、念のため、広いお墓の反対側に回り込んでみると、そこにはなんと…

…

儀：……、ゲル??

功：そう、それはモンゴルの遊牧民が使っているような移動式テント、ゲルでした！

儀：しかも、外には洗濯物が干してある！！

功：間違いない、人がいる！！

儀：自転車を放り出して、急いでゲルのなかに走り込み、まず目に飛び込んで来たのはテーブルの上に置かれた大量のパンやビスケット。

功：そして奥にはおばちゃん一人、特に驚くでもなく、絨毯の上にドカッと座っていました。

儀：カザフ語がしゃべれない僕たちは、必死でボディランゲージで「メシを食わせてくれ！」と伝えました。

功：するとおばちゃんは、やはり特に驚くでもなく笑顔で「おっけ、おっけ」と。

儀：ありがとう、おばちゃん！ 助かった！

功：テーブルの横に座り、おばちゃんにあったかいミルクティーを入れてもらっていると、どこからともなくおじさんたちが。外にトラックが止まり、さらに何人かが入ってくる。そして、同じようにテーブルにつく。

儀：ひょっとしたらここは長距離ドライバーなどの休憩所なのかもしれない。たしかに、トラックといえども、こんな砂漠の中で補給場所がなかったら困るもんな。

功：なんだかたくさん人に会えて、食べ物も目の前にして、ものすごくホッとしました。よかった、これで死なずにすむ、と。

儀：20分に及ぶイスラムの長い長いお祈りをお墓の真ん中の三日月に向けてみんなで行い、やっと食べることでできたパンとビスケットのおいしさと言ったら！

功：そしてなにより、おばちゃんが入れてくれたミルクティーの甘さが全身に染み渡る！

儀：なんと食べ物は、ありがたいものなのか。

功：出発間際、おばちゃんに何回もお礼を言ってゲルを出て行こうとすると、全力でおばちゃんに引き止められ、おばちゃんが、テーブルに置いてあったパンやビスケット、パックの牛乳などを片っ端からかき集めて大きな袋の中に入れ、それを全部僕たちに差ししてきました。

儀：それだけでなく、砂漠では貴重な水までも、雨水をためた水瓶から僕たちに分けてくれました。

功：さらに、倉庫から推定7kg以上の巨大スイカももらってしまいました。

儀：おばちゃんに抱きつかれ、気をつけていくんだよ、とほっぺにキスをされて見送られました。



功：何回お礼を言っても言い切れないぐらい。おばちゃんの優しさに感謝しました。

儀：それから少しして、砂漠のど真ん中で食べた巨大スイカのおいしさは一生忘れられません。

功：スイカをかじった瞬間、見ず知らずの言葉の通じない外国人にここまで優しくしてくれるおあばちゃんのやさしさが、のどから全身に染み渡り、ころから感動しました。

儀：そして、その後僕たちはどうなったかというと……

功：結局500kmの砂漠の中の未舗装道路を二週間かけて風呂にも入らず走り抜きましたとき、

儀：めでたしめでたし(笑)

功：今でこそめでたいけど、走ってる最中は「二度とこんなこと走るか！」って思ってたけどね(笑)

儀：生きててよかったです。

Connection of the Children

<http://coccococ.web.fc2.com>

田澤儀高

横浜国立大学大学院音楽教育専攻一年。ピアノと自転車旅が大好き。小さい頃からチャリで遠出するのが趣味。将来は学校の先生になって音楽の素晴らしさを子どもに伝えたい。そしてユーラシア横断の旅で感じてきたことも。

加藤功甫

横浜国立大学大学院一年休学中。保健体育科専攻。出会いに感謝し、日々邁進中！つながるって楽しい！！自転車旅/ボルダリング/生花/写真/読書/料理…

# 加藤功甫 田澤儀高 共著

## ユーラシア大陸横断自転車旅 2万キロの旅

20,000km Bicycle Trip Across The Eurasian Continent

加藤功甫 / 田澤儀高 共著

サバイバルな自転車の旅は  
奇跡の連続!!

11月  
31日  
20,194km  
の旅!

ホルトガルから日本へ  
トライアスロンを楽しむ  
大学院生2人が繰り広げる

十一月、31カ国、20000  
kmのユーラシア大陸横断の旅  
は奇跡の連続。  
その中で実施してきた世界の  
子どもを繋げるプロジェクト。  
1本の糸で世界の子どもを繋  
いだ結果は…



小説Braviに連載中の彼らが成し遂げた長い道のり。ぜひご覧ください。

## 最も楽に安くアンナプルナBCに行く方法

---

最も楽に安くアンナプルナBCに行く方法 (生死を分ける?準備編 inポカラ)



アンナプルナとは、ネパールのヒマラヤ山脈の中央に鎮座する山群の総称。最高峰は標高8,091m。アンナプルナBC (ベースキャンプ) は標高4,130m。

G o G o市原

三度の飯よりビールとカツオの刺身が好きな高知人。

高校卒業～自衛隊～NZワーホリを経て、登山と写真に目覚め、世界一周を決意。

大阪を拠点に働いていたが、出稼ぎ先の長野 槍ヶ岳で最愛のパートナーが見つかり

2012年6月から二人でケチケチな節約世界一周の旅に出発した。

<http://ameblo.jp/gogochihara/entrylist.html>

2012年9月27日から10月2日の6日間で、ナヤプールからアンナプルナBC (ABC) までトレッキングをしてきました。

地球の歩き方には9日間と書かれていますが、6、7日で十分に行って帰ってこれると思えました。僕達を通った、ナヤプール、ニューブリッジ経由アンナプルナBCのルートが恐らく最短距離だと思います。道も整備されていて、分かりやすく特に迷うこともなく歩けました。

### トレッキング前の準備

アンナプルナBCに行くためには二つの許可証が必要

#### 1 TIMS (トレッキングの許可証) グリーンカード

個人でいく場合は緑色の許可証

※個人の場合は自分でカトマンズかポカラの保護区・国立公園入園料徴収事務所 (通称ACAP) で申請する必要がある。一回のトレッキングにつき申請料金US20ドル。写真二枚 (パスポートサイズ) ※一応決まってるが多少大きくても小さくてもいけた。パスポート (見せるだけ)

ガイドつきの場合は青色の許可証で代理店が申請するみたいです。US10ドル

#### 2 アンナプルナ許可証 (アンナプルナ地域に入るための許可)

アンナプルナ地域に一回の出入り申請料金2000RS (ネパール・ルピー)。写真二枚 (パスポートサイズ) ※一応決まってるが多少大きくても小さくてもいけた。



1・2あわせてポカラのACAPにて即日で取れます。旅行代理店などでも取れるみたいですがきっと手数料がかかるのでもう少し高くなると思います。※個人の場合は直接しか取れない。

ACAPはポカラレイクサイドからのんびり歩いて40分ほど（微妙に遠い）の所にあります。場所は地球の歩き方にも載っています。（写真 左TIMSS 中アンナプルナ許可 右 ACAP）



## 必要なもののレンタル

Trekking Agencies' Association of Nepal (TAAN) ネパールトレッキング協会で、物品のレンタル料金が決まっているみたいでどこの店で借りても同じ値段。値下げなどをして見つかると罰金があると店員が言っていた。

寝袋 NEW40RS OLD30RS

ダウンジャケット 80RS

ストック 20RS

登山靴 90RS

テント 250-200RS※その他詳しくは写真の料金表で

トレッキングに必要なものはポカラの町で何でも借りることが可能。借りてないのでわからないが、どれも一日50RS以下で借りることができる。山のロッジでは毛布や布団を貸してくれるみたいだが不安だった。なので僕達は殆ど持っていたが、寝袋だけ借りた。※10月初旬のア

ンナプルナBCは部屋でも寒かった。

レンタル物品は店によって物のレベルに優劣があるので借りる前に見て確かめた方がいい。

寝袋一日40RS。マムート製？-10℃と書いていたがとても耐えられる作りには見えない。（7日分で借りていて、実際には6日で帰った来たのだが、1日分は返してくれなかった。）全ての店が一緒かはわからないけど、僕達が借りた店ではデポジットとして3000~6000RS（交渉可能）預けた。



### 食料などの準備

僕達は全てロッジに泊まる予定だったので、テントや食料は殆ど持っていかなかった。お菓子などの行動食は多めに持っていくことをお勧めします。

ポカラレイクサイドの大通りにある、キレイなスーパーは大体高いのでそちらで値段をメモしておいて、わき道や裏道の小さな商店で買ったほうが安いことが多い。参考までに

(2012年10月10日現在、100RS=93円)

品名	ポカラのコンビニ	小さい商店	山小屋(低山)	山小屋(高山)
スニッカーズ	90RS	70RS	100RS	120RS
クッキー	15RS	10RS	25RS	30RS
スプライトcan			130RS	175-190RS
水	40RS (2L)	35RS	60-80RS (1L)	100-120RS (1L)

### 役に立ったもの&持って行って良かった物

帽子・ヘッドライト・粉末のスープ・クッキーやチョコレートなど甘い物(多めがいい)・トイレトペーパー(必需品)・雨具(カッパ、ポンチョなど)・防水の軽トレッキングシューズ

ズ（道が水浸しになってることが多々ある）

どこでも水は手に入るが不純物が浮かんでたりするので、水を浄化するフィルターなどが付いてる水筒があれば節約できて便利だと思った。重くない行動食などは、なるべく多めに町で買っていき、水やジュースなどは現地で購入するようにすると安く出来ると思う。



アンナプルナBCルート（次ページ）

- |     |      |                         |
|-----|------|-------------------------|
| 1日目 | レッド  | ナヤプール～ジヌー               |
| 2日目 | ピンク  | ジヌー～バンブー                |
| 3日目 | オレンジ | バンブー～アンナプルナBC（ABC）      |
| 4日目 | ブルー  | ABC～ドヴァン                |
| 5日目 | 水色   | ドヴァン～ジヌー                |
| 6日目 | 紫色   | ジヌー～シウリバザール（ローカルバスでポカラ） |

※赤星印（出発地点）ナヤプール

オレンジ星印 アンナプルナBC

黄星印（ローカルバス&タクシー乗り場）シウイ（車で行ける最終地点）

白星印（帰りにバスに乗った場所）シウリバザール

今回は 生死を分ける？準備編 inポカラ のレポートでした。

次号は、「地獄と天国編」。越えられるか？登り坂地獄！ 辿りつけるか？標高1700m秘境の湯！！お楽しみに。







### Notice!!!

It is to notify that our Trekking Equipment Shops Association has come to an agreement about the price of equipment for rent. The association has decided that the following rates are to be fixed. Every member and their clients are requested to follow the list below.

Item No.	Particulars		Rate Per Day	Remarks
1.	Tent	(New)	250 Rs	
2.	Tent	(Old)	200 Rs	
3.	Sleeping Bag	(New)	50 Rs	
4.	Sleeping Bag	(Old)	40 Rs	
5.	Boots	(Pair)	90 Rs	
6.	Rucksack	Approx 20L (s)	40 Rs	
7.	Rucksack	Approx 25L-40L (M)	50 Rs	
8.	Rucksack	Approx 45L-90L (L)	80 Rs	
9.	Down Jacket		80 Rs	
10.	Waterproof Jacket/Fleeced Lined		40 Rs	
11.	Gore-Tax Jacket		40 Rs	
12.	Fleeced Jacket		30 Rs	
13.	Gore-Tax Trousers		40 Rs	
14.	Fleeced Trousers		25 Rs	
15.	Crampons		100 Rs	
16.	Ice Axe		100 Rs	
17.	Gas Stove		40 Rs	
18.	Pair of Sticks	Telescopic	60 Rs	
19.	Single Stick	Simple	20 Rs	
20.	Sleeping Mat		25 Rs	
21.	Gloves		20 Rs	
22.	Gaiters		20 Rs	
23.	Hat (Woolen/Fleeced)		20 Rs	
24.	Water Bottle		20 Rs	
25.	Sunglasses		20 Rs	
26.	Rain Panchul/Capes		20 Rs	
27.	Thin Waterproof coat		30 Rs	
28.	Thin Waterproof Trousers		30 Rs	

## 自炊派の手料理

---

旅に出たら現地の料理を食すに限る。でも物価の高い街での長めの滞在となると、さすがに外食ばかりはフトコロに堪える。そんな時は自炊。簡単で安くて美味しい自炊派の手料理をご紹介します。

### 「もちポテト」四人分

今回はどこの国でも手に入るジャガイモをメインに使ってみました。

スープの具にしても美味しいお手軽料理。



### ★材料

■ジャガイモ・・・・・・・・・・300g

■焼き豚（ハム、ソーセージなど）・・50g

■片栗粉・・・・・・・・・・30g

（ジャガイモに対して1割くらいの量がベスト）

■ねぎ・・・・・・・・・・少量

■醤油・・・・・・・・・・少々

（ソースはお好きなものを。ケチャップやチリソースでもOKです。）

### 作り方

①ジャガイモを茹でて、潰す。

②片栗粉を加えて更によく混ぜる。

（この時水分が少なくて片栗粉が混ざらなければ少量の水を入れましょう。）

③生地の中に具材を入れ、火が通りやすいように少し平らにする。

（大きさはお好みで）

④熱湯の中に入れ、浮き上がって暫くすれば取り出し、盛り付けて完成。



※中に入れる具は好きなものを入れましょう。チーズを入れても美味しいですよ。  
片栗粉の量で食感が変わるので、いろいろ試すと面白いです。  
フライパンで両面カリッと焼けば、食感も変わってこれまた美味しい！！  
揚げてもGOOD！！

谷津 達観(やつ たっかん)

料理の道を歩んでいたが、突然夫婦で403日間、35ヶ国を周る世界一周の旅に！！

日本に帰ってきたかと思えば今度は仕事で香港在住決定！！

「家から徒歩一年☆たっかんとじんみの2人世界一周」

<http://ameblo.jp/worldjourney2010/>

記事提供

沢井ブルース

旅する武術家 空手では国際大会優勝経験アリ

現在は東南アジアを中心に放浪及び武者修行中

ヘタクソな文章ではありますが、気楽に読んでもらってBraliの中の「箸休め」的な存在になれたらなーと思ってます

人生、酒と泪と旅と武術 梵我一如 覚有情

「美味しい？」

テーブルの向こうから由美子さんが微笑みながらそう聞いてくる。

僕は鍋をはふはふとかきこみながら

「美味しいです！」

と答える。

由美子さんはここホーチミンで出会った年齢不詳、職業不詳のミステリアスな女性だ。

まるでモデルのようなスタイルに白いワンピースをシックに着こなし、腰まである長い髪をなびかせながらホーチミンの街を颯爽と歩く由美子さんは僕の憧れの女性だった。

その由美子さんから「美味しい鍋をご馳走してあげる」といって連れてこられたのが、ホーチミン郊外にあるこの小汚い鍋料理屋だった。

「ブルースくん、この鍋に入ってるお肉ってなんのお肉かわかる？」

タイガービールと氷の入ったグラスを傾けながら由美子さんがそう聞いてくる。

「いやー判んないっすね！牛か豚？いや羊かな？」

「犬」

「えっ？」

「犬よ、ブルースくん。ワ・ン・ワ・ン」

「……」

「ベトナムではね、犬を食べるの。滋養強壮に凄く良いんですって……」

そういえば由美子さんは一口も鍋を食べていない。ビールを飲んでいるだけだ。

暫くの沈黙の後、由美子さんのグラスの中に入っている氷が溶け、カランと音を立てる。何故だかその音が凄く大きく聞こえた。

「嘘よ、ブルースくん。ベトナムでは犬を食べるのは本当だけど……今じゃ食用の犬って手に入り辛いらしくてね……この鍋は牛のお肉。安心して」

「は、ははっ……そ、そうっすよね！？　いくらなんでもいきなり犬鍋を食わせることなんて事しないですよね？」

僕の問いが聞こえたのか聞こえてないのか、由美子さんは微笑を浮かべながら黙ってグラスを傾げるだけだ。由美子さんの長い睫毛が夕日に照らされて妖しく光る。

由美子さんと別れ宿に帰ると、いつもおとなしくめったに吠えることすらない宿のマスコット犬が、牙を剥き出しもの凄い形相で僕に吠えかかってきた。

本当に嘘……だよな……？　由美子さん？

## 【旅日記】 インドテレビ通販で腰抜かす《ネパール・ポカラ編》

---

### 【旅日記】 インドテレビ通販で腰抜かす《ネパール・ポカラ編》

Chibirock

Sigur RosとBeirut巔頂のメタル好きバックパッカー。チベット越えてインドで太って台湾の農家で大豆を選り分けたり。最近結婚したが放浪やめる気毛頭無し。

<http://blog.chibirock.net/>

カトマンズ。

全然観光はしてないけど、お祭りだとかジャズ・フェスティバルだとかパーティーや儀式にお呼ばれしたりとか、いろんな人に会っていろんな体験して、ほんと楽しくて楽な毎日だった。

そんな訳で無駄に3週間ド沈没したカトマンズともお別れ、なんとなく、かつ当たり前のようにポカラに来てみました。

多くの人がトレッキングやハイキングに訪れ、かつ都会やインドでの疲れを癒す場所として大人気のポカラ。

ちびろっくはといえば、セオリーに従い、山にちょっと足を踏み入れてみたのが大間違い、達成感より疲労感がるかに勝り、心身ともにフルボッコ。やはり登山とか、重力逆らう系の楽しみは理解できませんでした。

なんもかんもやたら金かかるし、トレッキングから帰ってきた俊さんとヒデ君の、ウンコネタを中心とするバカみやげ話と、テレビくらいしか楽しんでません。

テレビなんて日本じゃ週2回くらいしかつけませんけども、その国のローカル事情を知るにうってつけだから、旅行中は部屋に運良くあれば、つけっ放しにします。

今日はインドの通販番組を、全編想像アフレコにてご紹介します。



家庭の不和...



思うようにいかないビジネス...



そんなあなたにも、ラクシュミーの女神は微笑みます！



ラクシュミー像、長寿をつかさどる亀など、今回は豪華7点セットでのご紹介です！





私もかつては、職場で理不尽な扱いを受け、同時に妻の浮気が発覚し、問題を抱えていましたが、このラクシュミーペンダントを身に付けるようになってから、突然全てが好転したのです。

ラクシュミー様のご加護がなければ、今の私はありません。



7点で6000ルピーのところ何と！半額以下の2990ルピーでのご提供！



更に！

今なら特別に、アイ・パワー増強セットをおつけします！



お子さんの具合が突然悪くなったけど、病院が開いてない時間なんかはどうしようもないですよね。



そんな時にこのアイ・パワー増強ストーンを着けて目に力を込めてください！



増強されたアイ・パワーが届けば.....



たちどころに元気に！



あなたにも、あなたのご家族にも幸運をもたらすラクシューミーセット、ご奉仕価格でのご提供  
です！

この機会をお見逃さないよう！

そんなアホな！！

### 長い間



マラッカ、チャイナタウン。

降りしきる雨の中、私たちはナイトマーケットにいた。

雨は急にスコールのように強くなり、ハイネケンの緑のライトが光るお店に走りこんだ。はじめた店内は不快だった。

雨が弱まり、私たちは店を出た。再びぶらぶらと歩き出す。おもしろそうなものを物色し、おいしそうなものを買い食いする。

すると、とてもきれいな英語の曲が聴こえた。歩き疲れた私たちは、彼の近くに腰を下ろすことにした。

流暢な英語を話す東洋風の顔をした長髪の男は、私たちが日本人だとわかると、日本の曲を歌ったことがあると言って2、3曲歌ってくれた。

手渡された缶の黒ビールを飲む。彼はどんどん飲み、真っ赤な顔で歌い続けた。

ビールがなくなると、彼は私にギターをかけ、買いに行った。弾けないギターを弾き、小さな声で歌う。箱の中のシンガポールドルは増えない。

彼はkiroroがお気に入りのようで、何度も何度もリピートし、一緒に歌った。

どれくらいの間そうしていただろう。飲んで歌って、素敵な時間だった。しばらく経った後、彼はこう言った。

「もう少し歌ったら帰るけど、よかったら家にこないか。大丈夫だよ。奥さんも息子もいる」

彼は終始、陽気だった。

――そろそろ帰り時だ。友人にここを離れようかと言うと、

「え？ おうち行かないの？」

「え？ 行くの？ 危ないよ？」

「え？ なんで危ないの？ きっとこの人寂しいんだよ？ 奥さんも子どももいるって言うてるし、大丈夫でしょ？」

「え？ 本当に奥さんと子どもがいると思うの？」

「え？ 違うの？」

警察に職務質問されている間も、彼は流暢な英語を話し、陽気に笑っていた。彼はどこから来て、どこへ行くのだろう。

あの時の思わぬ友人の言葉に、私は今も彼の美しい声と人生を思い浮かべる。もしかしたら彼には本当に、妻子があったのかもしれない。頭の中で私は、あの時何度も何度も歌ったあの曲を歌っている。

気づいたの あなたが こんなに 胸の中にいること  
愛してる でもまさかね そんなこと 言えない

寂しそうに、幸せそうに、電話をする彼の姿が脳裏をよぎる。

また急に仕事が入ったと言うと、彼は電話を切り、缶の黒ビールを飲みながら、じめじめした暑苦しいあの場所で、やさしい声であの曲を歌う。

おがち (Yuka OGASAWARA)

旅と自然と人が好きです。

みんながどんな気持ちでどんな風に暮らしているのかを垣間見に出かけています。

様々な社会問題に興味あり。

環境、農村、貧困。

特に日本とタイに夢中です。



# Braili Photo

世界を旅するバックパッカーたちの目が捉え、心に引かれた瞬間を表現するBraili Photo



ワールドハッカー

元バックパッカー、現在は職業ハッカー。

ブログ『World Hacks!』にて海外旅行関連の情報を毎日発信しています。

<http://bit.ly/WorldHacks>

Brali Vol.1からVol.9まで9連続記事掲載・写真提供。



おがち (Yuka OGASAWARA)

旅と自然と人が好きです。

みんながどんな気持ちでどんな風に暮らしているのかを垣間見に出かけています。

様々な社会問題に興味あり。

環境、農村、貧困。

特に日本とタイに夢中です。





yukkichalk

東南アジア女一人旅ばかりのOL。毎年訪問のミャンマーにはまりすぎ、今年末からヤンゴンに留学予定。



Chibirock

Sigur RosとBeirut最頂のメタル好きバックパッカー。チベット越えてインドで太って台湾の農家で大豆を選り分けたり。最近結婚したが放浪やめる気毛頭無し。

<http://blog.chibirock.net/>



鈴木モト

男性 静岡県出身。高校時代、陸上でインターハイ出場。ベストタイム  
10秒84 (100M)

美容師免許、管理美容師免許取得。

MIXIコミュニティー、「鈴木が書く世界一周旅行記が好きだ」2800人突破。

[http://mixi.jp/view\\_community.pl?id=3502328](http://mixi.jp/view_community.pl?id=3502328)

現在、一眼レフカメラ片手に世界を放浪中。

ブログ「地球の迷い方。～世界放浪編～」

<http://ameblo.jp/roundtheworld200130/>

## 作者・情報提供者一覧

---

【作者・情報提供者一覧】

表紙写真

エッセイ 旅ときどき・・・ 本文&写真

鈴木モト

男性 静岡県出身。高校時代、陸上でインターハイ出場。ベストタイム10秒84 (100M)

美容師免許、管理美容師免許取得。

MIXIコミュニティー、「鈴木の本を書く世界一周旅行記が好きだ」2800人突破。

[http://mixi.jp/view\\_community.pl?id=3502328](http://mixi.jp/view_community.pl?id=3502328)

現在、一眼レフカメラ片手に世界を放浪中。

ブログ「地球の迷い方。～世界放浪編～」

<http://ameblo.jp/roundtheworld200130/>

「旅人からの伝言 特集ミャンマー」 実は、ココぞ訪れるべき観光地 本文&写真

yukkichalk

東南アジア女人旅ばかりのOL。毎年訪問のミャンマーにはまりすぎ、今年末からヤンゴンに留学予定。

テーマ「Peace 旅人が見た平和」 旅人が見た平和

大谷 浩則

猪突猛進のトイレットパッカー。現在世界2周目！フィリピン留学からスタート。

旅のPodcast配信しています！

Podcast:ウィーリーのバックパッカーラジオ 世界一周アワー

<http://tabitabi-podcast.com/sekai1/>

Blog:ウィーリー 海外放浪×地球一周×フィリピン留学 ～実況！旅人アワー～

<http://ameblo.jp/hero23/>

Twitter:[@taniwheelie](https://twitter.com/taniwheelie)

谷川和哉 (Kazuya Tanigawa)

自分の知らない世界に触れたくて、初めてカナダに行ったのが高1。国内外問わずウロウロと。多くの街に行くよりは、一つの街でじっくりと人に触れる旅がしたい。現在は、技術者として腕みがき、翻訳ボランティアをしながら、エネルギー問題の解決方法を考える日々。誰か一緒にやりましょう。100人100旅；第1、3、5弾執筆者。100人100旅を通して東京、名古屋、京都、熊本、函館、イタリアで写真展を開催。個人的にも名古屋の旅人と共に写真展を開催する。

Twitter ; [@ponn\\_kazuya](https://twitter.com/ponn_kazuya)

Chibirockの旅はくせもの 本文&写真

アジア漂流日記 本文&写真

Chibirock

Sigur RosとBeirut巔頂のメタル好きバックパッカー。チベット越えてインドで太って台湾の農家で大豆を選り分けたり。最近結婚したが放浪やめる気毛頭無し。

<http://blog.chibirock.net/>

一本の糸で世界をつなぐチャリの旅 本文&写真

Connection of the Children

<http://coccocococ.web.fc2.com>

田澤儀高

横浜国立大学大学院音楽教育専攻一年。ピアノと自転車旅が大好き。小さい頃からチャリで遠出するのが趣味。将来は学校の先生になって音楽の素晴らしさを子どもに伝えたい。そしてユーラシア横断の旅で感じてきたことも。

加藤功甫

横浜国立大学大学院一年休学中。保健体育科専攻。出会いに感謝し、日々邁進中！つながるって楽しい！！自転車旅/ボルダリング/生花/写真/読書/料理…

最も楽に安くアンナプルナBCに行く方法

G o G o市原

三度の飯よりビールとカツオの刺身が好きな高知人。

高校卒業～自衛隊～NZワーホリを経て、登山と写真に目覚め、世界一周を決意。

大阪を拠点に働いていたが、出稼ぎ先の長野 槍ヶ岳で最愛のパートナーが見つかり

2012年6月から二人でケチケチな節約世界一周の旅に出発した。

<http://ameblo.jp/gogoichihara/entrylist.html>

自炊派の手料理 本文&写真

谷津 達観(やつ たっかん)

料理の道を歩んでいたが、突然夫婦で403日間、35ヶ国を周る世界一周の旅に！！

日本に帰ってきたかと思えば今度は仕事で香港在住決定！！

「家から徒歩一年☆たっかんとじんみの2人世界一周」

<http://ameblo.jp/worldjourney2010/>

エッセイたびたべ 本文&写真

沢井ブルース

旅する武術家 空手では国際大会優勝経験アリ

現在は東南アジアを中心に放浪及び武者修行中

へたくすな文章ではありますが、気楽に読んでもらってBraliの中の「箸休め」的な存在になれたらなーと思っています

人生、酒と泪と旅と武術 梵我一如 覚有情

巻末ショートエッセイ 長い間 本文&写真

おがち (Yuka OGASAWARA)

旅と自然と人が好きです。

みんながどんな気持ちでどんな風に暮らしているのかを垣間見に出かけています。

様々な社会問題に興味あり。

環境、農村、貧困。

特に日本とタイに夢中です。

【Brali Photo 誌上写真展】

ワールドハッカー

元バックパッカー、現在は職業ハッカー。

ブログ『World Hacks!』にて海外旅行関連の情報を毎日発信しています。

<http://bit.ly/WorldHacks>

Brali Vol.1からVol.9まで9連続記事掲載・写真提供。

おがち (Yuka OGASAWARA)

旅と自然と人が好きです。

みんながどんな気持ちでどんな風に暮らしているのかを垣間見に出かけています。

様々な社会問題に興味あり。

環境、農村、貧困。

特に日本とタイに夢中です。

yukkichalk

東南アジア女一人旅ばかりのOL。毎年訪問のミャンマーにはまりすぎ、今年末からヤンゴンに留学予定。

Chibirock

Sigur RosとBeirut巔頂のメタル好きバックパッカー。チベット越えてインドで太って台湾の農家で大豆を選り分けたり。最近結婚したが放浪やめる気毛頭無し。

<http://blog.chibirock.net/>

鈴木モト

男性 静岡県出身。高校時代、陸上でインターハイ出場。ベストタイム10秒84 (100M)

美容師免許、管理美容師免許取得。

MIXIコミュニティー、「鈴木が書く世界一周旅行記が好きだ」2800人突破。

[http://mixi.jp/view\\_community.pl?id=3502328](http://mixi.jp/view_community.pl?id=3502328)

現在、一眼レフカメラ片手に世界を放浪中。

ブログ「地球の迷い方。～世界放浪編～」

<http://ameblo.jp/roundtheworld200130/>

【協力】

向井通浩

JAPAN BACKPACKERS LINK 代表・運営管理者。「ハニートラップ研究所」所長。タイマッサージ依存症。ホワイト餃子。バックパッカー新聞編集長。

<http://backpackers-link.com>

<http://www.mag2.com/m/0001521550.html>

小田奉路

海外起業家's EGG主宰

<http://worldsegg.com/>

<http://archive.mag2.com/0001295311/index.html>

【広告】

カオサン東京ゲストハウス

<http://www.khaosan-tokyo.com/ja/>

Maison D'hote Amande chez noriko

<http://amandecheznoriko.web.fc2.com/>

## 編集後記 Fistera

---

編集後記 Fistera

すっかり涼なくなってきました。旅にもいいシーズンですが、旅のイベントも増えてきますね。  
この秋、いくつかの旅イベントに参加する予定してます。  
そろそろ旅に出たいなあ。

●公式サイト

<http://brali.net>

○Brali Job バックパッカーだって働きたい。帰国後のお仕事探しサイト

<http://job.brali.net>

○Brali情報ノート 安宿のリアルでナウな情報ノートをウェブ上でみんなで作ってみんなでシェアする

<http://note.brali.net>

そして、Facebookページもやってます！ぜひとも「いいね！」してください。Twitterとは別の情報も掲載してますので。

<http://www.facebook.com/Bralimagazine>

さらには！NAVERまとめで旅に関することもまとめてますので、見てくださいね。

<http://matome.naver.jp/mymatome/kurinobu>

Brali Bizからセミナーを始める企画も準備中です。

「旅、インバウンド、アウトバウンド、海外」等のキーワードで独立や週末起業や副業など検討の方向けに、その方面の識者や経験者などを講師に迎え、セミナーを企画しています。

皆様のご感想などもお待ちしております。ちょっとしたメモ程度でもかまいませんので、感じたこと気づいたことなどお送りください。

<mailto:bralimagazine@gmail.com>

<http://brali.net/contact#.UIYstMUj6So>

## 次号予告（2012年12月25日発行予定）

---

次号予告（2012年12月25日発行予定）

- テーマ「仮）旅先から見たニッポンのイトコ、ワルイトコ」
- Brali Biz 「旅」×「ビジネス」
- 旅で使えるデジタルアプリ
- HANGOVER in the WORLD
- Chibirockの旅はくせもの
- 旅人からの伝言 「特集 ラオス」
- エッセイ旅トキドキ・・・
- トホホな話
- 一本の糸で世界をつなぐチャリの旅
- 最も楽に安くアンナプルナBCに行く方法
- 自炊派の手料理
- エッセイたびたべ
- アジア漂流日記
- 旅先の変な日本語
- 海外ボランティア体験談
- 巻末ショートコラム



# 記事と情報および写真の募集要項

---

## 記事と情報および写真の募集要項

次回のBraliの発行予定は12月25日です。

下記の記事や情報をお気軽にお寄せください。ご応募いただきました中から厳選させていただきます。

### ★記事および情報

■テーマ「仮）旅先から見たニッポンのイトコ、ワルイトコ」海外にいと、日本のイトコとワルイトコの両方が際立って感じたりすることないですか？「日本てすげーな」とか「日本もこの国のイトコ真似すればいいのに」とか。

そんな旅先で感じたニッポンを書いてみて下さい。

→1500字から2000字程度

■旅で使えるデジタルアプリ →旅で役に立ったアプリを教えてください。

■HANGOVER in the WORLD →旅先での酒や酒場にまつわるショートコラムをお待ちしています。

■旅人からの伝言 特集 ラオス

→1500字から2000字程度

■変な日本語→海外でよく目にする「変な日本語」。写真とどこで撮影したかを教えてください。

■海外支援団体などの団体さん、活動PRや支援募集などBraliに無料掲載いたします。取り組みなどのPRなどにご利用ください。

■海外ボランティアツアーや海外青年協力隊参加などの体験談を大募集しています。旅行では体験できないことや、秘話などをお待ちしています。

■巻末ショートエッセイ→1000字以内のテーマは自由の旅に関する短文を募集します。旅で見たもの、感じたこと、はまったことなど。

→1000字以内

### ★写真

■Brali表紙用写真

ラオスで撮影された写真を募集します。

記事投稿および投稿に関するご質問はメールにてお願いします。

bralimagazine@gmail.com

投稿フォーム

<http://p.tl/Mi5K>

<http://bralimagazine.blogspot.jp/2011/11/blog-post.html>

# 奥付

---

奥付



Brali

●公式サイト

<http://brali.net>

○Brali Job バックパッカーだって働きたい。帰国後のお仕事探しサイト

<http://job.brali.net>

○Brali情報ノート 安宿のリアルでナウな情報ノートをウェブ上でみんなで作ってみんなでシェアする

<http://note.brali.net>

●Facebookページ

<http://www.facebook.com/Bralimagazine>

●NAVERまとめ

<http://matome.naver.jp/mymatome/kurinobu>

●mixiページ

<http://p.mixi.jp/brali>

●twitter

<http://twitter.com/2moratorium>

編集：くりはらのぶゆき

発行：くりはらのぶゆき

## 【Braliの指針】

旅人は、旅をすることにより、その国や地域の人や文化に触れ、体験し、多様な価値観を知り、違いを理解し、享受することができます。また旅に出てみるのが、日本や居住地などの良し悪しや文化、社会、諸問題を見つめなおすきっかけになります。

そんな機会と経験を無駄にせず社会に活かす旅人の可能性を信じています。

旅人を増やし、旅に出る回数を増やし、旅に出る時間を増やすことを目的の一つとします。

そのためにも旅で得た情報や経験（インプット）を表現（アウトプット）する場と機会をメディアで提供し経験した人とは共有し、経験してない人へは追体験してもらいます。

また旅での経験を社会に活かす（例えば仕事や起業あるいは社会貢献やボランティアなど）仕組みづくりを行ないBraliも社会に寄与します。